

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2017年2月号参照）。

平成28砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：197万トン（前回見通しから1000トン減）

総供給量：187万8000トン（同5万トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万4000トン（同7000トン増）

表1 平成28砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,923	520.8	447.5	485.2	481.5	1,935	
	含みつ糖	35	5.8	14.0	10.3	5.3	35	
	合計	1,958	526.6	461.5	495.5	486.8	1,970	
供給量	国内産糖	分みつ糖	805	299.7	335.8	28.4	-	664
		含みつ糖	8	0.5	7.7	1.2	-	9
		小計	813	300.2	343.5	29.6	-	673
	輸入糖	分みつ糖	1,164	341.9	179.9	327.8	345.5	1,195
		含みつ糖	11	1.2	4.5	3.4	0.9	10
		小計	1,175	343.1	184.4	331.2	346.4	1,205
	合計	分みつ糖	1,969	641.6	515.7	356.2	345.5	1,859
		含みつ糖	19	1.7	12.2	4.6	0.9	19
		小計	1,988	643.3	527.9	360.8	346.4	1,878
期末在庫		314	428.9	495.3	360.6	220.2	220	

表2 平成28砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成27砂糖年度 (実績)	平成28砂糖年度				合計 (見通し)
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	818	176.0	178.5	245.3	223.8	824
供給量	818	176.0	178.5	245.3	223.8	824

資料：農林水産省「平成28砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

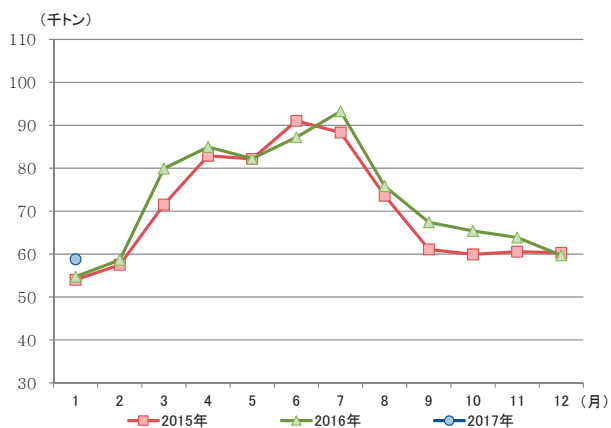
1月の移出数量は前年同月からかなりの程度増加

2017年1月の異性化糖の移出数量は、5万8795トン（前年同月比7.4%増、前月比1.5%減）となった（図1）。

1月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

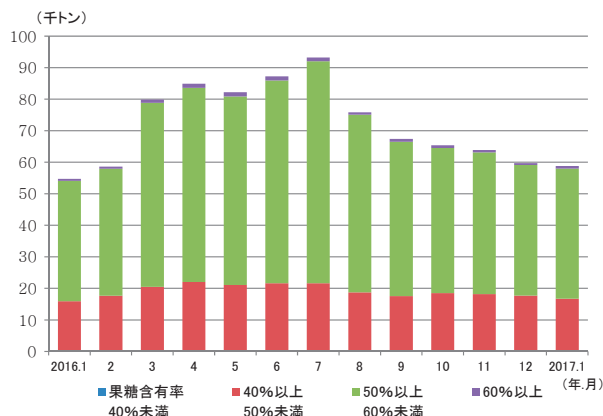
果糖含有率40%未満	313トン
（前年同月比8.6%減、前月比28.2%減）	
同40%以上50%未満	1万6415トン
（同5.5%増、同5.1%減）	
同50%以上60%未満	4万1276トン
（同8.1%増、同0.3%減）	
同60%以上	791トン
（同20.9%増、同35.8%増）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

12月の輸入量は前年同月から大幅に減少

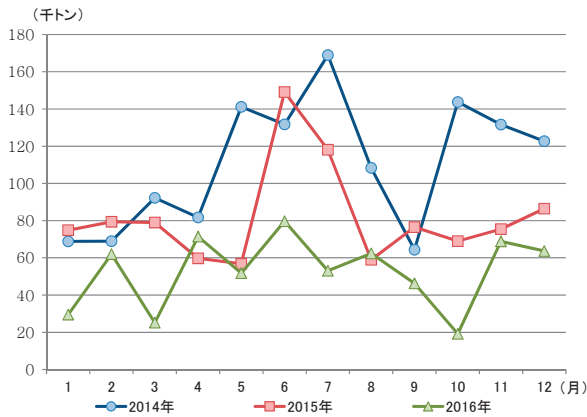
財務省「貿易統計」によると、2016年12月の分みつ糖（HSコード1701.14-110）の輸入量は、6万3646トン（前年同月比26.4%減、前月比7.7%減）であった（図3）。

輸入先国はタイ、米国および英国の3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図4）。

タイ	6万3636トン
（前年同月比79.4%増、前月比50.1%増）	
米国	8トン
（同55.6%減、同78.9%減）	
英国	2トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	

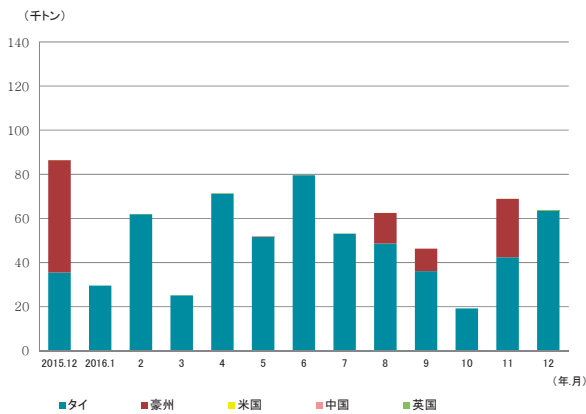
同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、5万8471トン（前年同月比43.5%増、前月比34.6%減）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



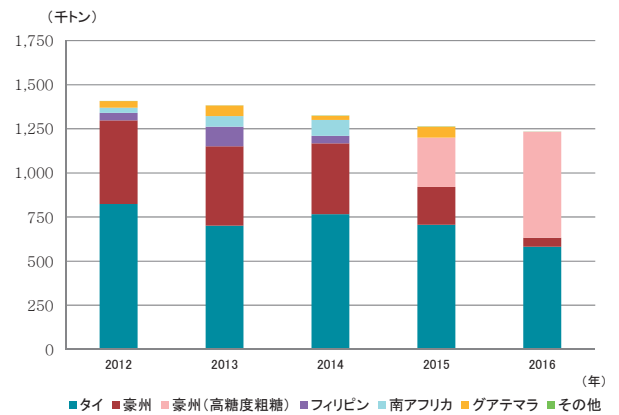
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2016年（1～12月）の分みつ糖の輸入量は63万3148トン（前年比35.6%減）、豪州からの高糖度原料糖は60万801トン（同2.1倍）で、合計した輸入量は123万3949トン（同2.3%減）であった（図5）。

輸入先国は豪州、タイ、米国、中国および英国の5カ国で、国別の輸入量は次の通りであった。

豪州	65万1300トン（前年比31.8%増）
タイ	58万2385トン（同17.6%減）
米国	259トン（同40.0%減）
中国	3トン（前年輸入実績なし）
英国	2トン（前年輸入実績なし）

図5 分みつ糖の年別国別輸入量の推移



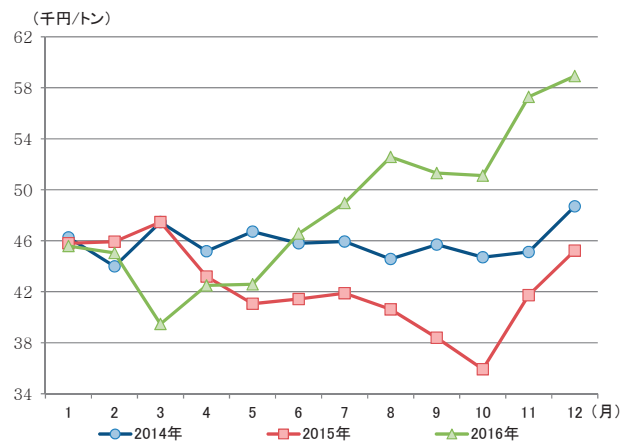
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200

2016年12月の1トン当たりの輸入価格は、5万8919円（前年同月比30.3%高、前月比2.8%高）となった（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	5万8888円
	（前年同月比36.0%高、前月比7.7%高）
米国	22万2750円
	（同8.0%高、同2.2倍）
英国	39万3000円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図6 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

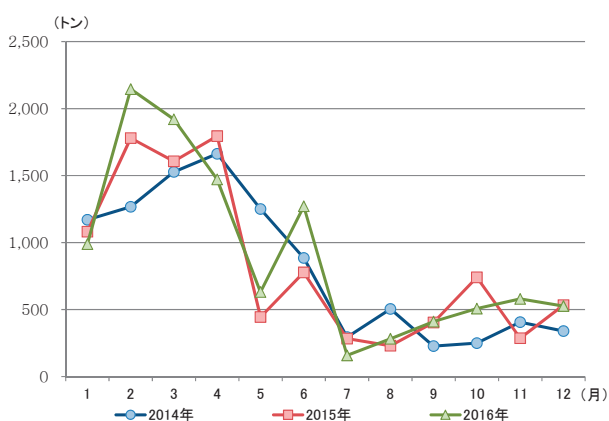
12月の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2016年12月の含みつ糖の輸入量は、526トン（前年同月比1.3%減、前月比9.3%減）であった（図7）。

輸入先国は中国、ボリビア、ブラジル、フィリピンおよびペルーの5カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図8）。

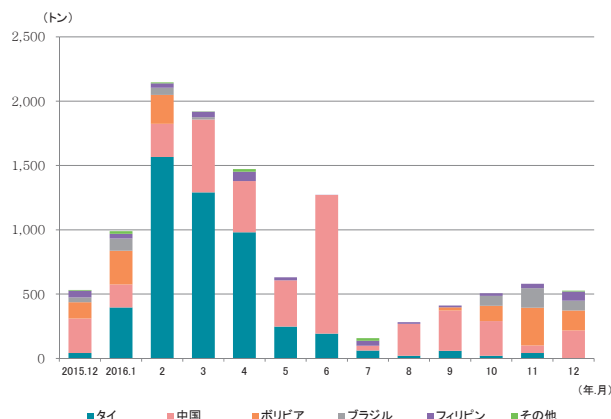
中国	218トン
（前年同月比18.7%減、前月比3.7倍）	
ボリビア	155トン
（同22.0%増、同47.1%減）	
ブラジル	75トン
（同97.4%増、同50.7%減）	
フィリピン	73トン
（同40.4%増、同2.1倍）	
ペルー	5トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	

図7 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図8 含みつ糖の国別輸入量の推移



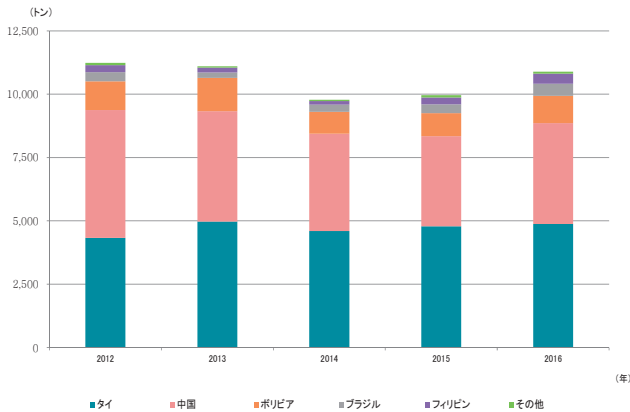
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2016年（1～12月）の含みつ糖の輸入量は、1万893トン（前年比9.3%増）であった（図9）。

輸入先国はタイ、中国、ボリビア、ブラジル、フィリピン、コスタリカ、モーリシャス、米国およびペルーの9カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図9）。

タイ	4879トン（前年比1.9%増）
中国	3983トン（同12.0%増）
ボリビア	1079トン（同17.7%増）
ブラジル	473トン（同38.3%増）
フィリピン	403トン（同48.2%増）
コスタリカ	40トン（同2.0倍）
モーリシャス	20トン（同9.1%減）
米国	11トン（同70.3%減）
ペルー	5トン（前年輸入実績なし）

図9 含みつ糖の年別国別輸入量の推移



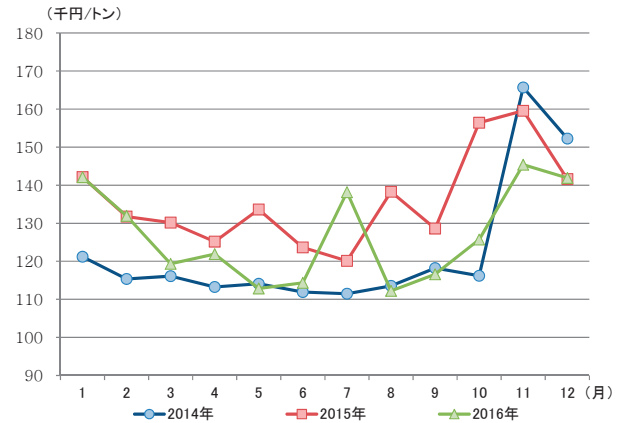
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2016年12月の1トン当たりの輸入価格は、14万1920円（前年同月比0.2%高、前月比2.4%安）となった（図10）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	11万4427円
	（前年同月比7.7%安、前月比6.7%高）
ボリビア	13万8058円
	（同5.2%安、同6.8%高）
ブラジル	22万3920円
	（同2.2%安、同7.2%高）
フィリピン	14万7740円
	（同18.6%安、同10.0%高）
ペルー	14万5400円
	（前年同月および前月輸入実績なし）

図10 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

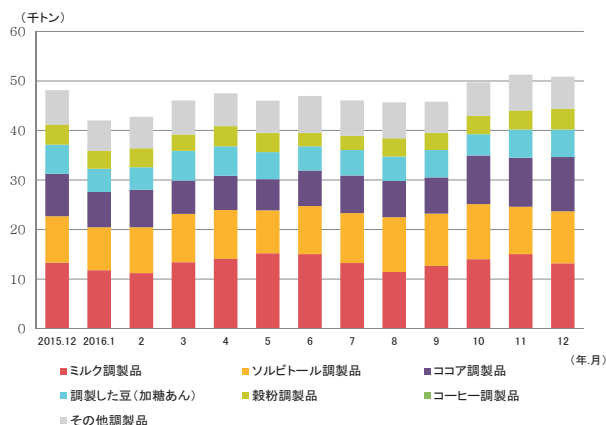
12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2016年12月の加糖調製品の輸入量は、5万831トン（前年同月比5.6%増、前月比0.9%減）となった（図11）。

品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	1万3156トン
	（前年同月比1.2%減、前月比12.4%減）
ソルビトール調製品	1万515トン
	（同12.6%増、同9.8%増）
ココア調製品	1万939トン
	（同27.5%増、同10.4%増）
調製した豆（加糖あん）	5575トン
	（同5.4%減、同1.9%減）
穀粉調製品	4218トン
	（同4.2%増、同10.3%増）
コーヒー調製品	31トン
	（同86.7%増、同2.0倍）
その他調製品	6397トン
	（同8.0%減、同11.7%減）

図11 加糖調製品の品目別輸入数量の推移

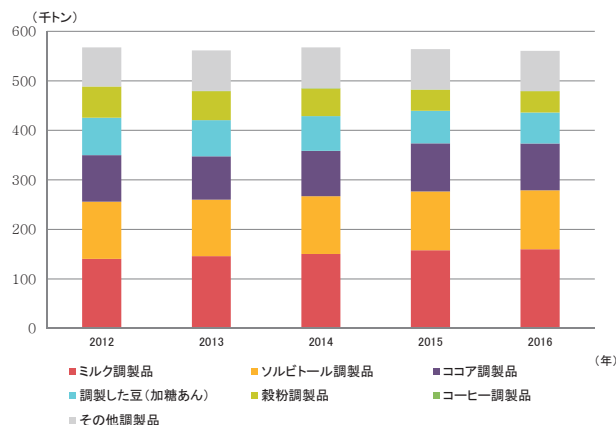


資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

- ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190
- コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
- 調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119
- ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
- ソルビトール調製品：2106.90-510
- 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252
- その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

図12 加糖調製品の年別品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

- ココア調製品：1806.10-100、1806.20.111、1806.20-190
- コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
- 調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190、2005.99-119
- ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
- ソルビトール調製品：2106.90-510
- 穀粉調製品：1901.90-251、1901.90-252
- その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-282、2106.10-219

2016年（1～12月）の加糖調製品の輸入量は、56万711トン（前年比0.6%減）となった（図12）。

同月の品目別の輸入量は、次の通りであった。

ミルク調製品	16万56トン（前年比1.4%増）
ソルビトール調製品	11万8881トン（同0.3%増）
ココア調製品	9万4717トン（同3.0%減）
調製した豆（加糖あん）	6万2680トン（同4.5%減）
穀粉調製品	4万2964トン（同0.9%増）
コーヒー調製品	373トン（同10.2%増）
その他調製品	8万1038トン（同0.6%減）

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり192～193円
大阪	同193円
名古屋	同196円
関門	同196円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり205～206円
大阪	同207円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり197～198円
大阪	同198円
名古屋	同201円

ビート・グラニュー糖（大袋）	
東京	1キログラム当たり192～193円
大阪	同193円
名古屋	同194円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの	
1キログラム当たり	131～132円
果糖分55%もの	
	同137～138円

【小売価格】

1月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で27.8円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、190.8円（前年同月差1.3円高、前月差1.3円高）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	189.5円
	（前年同月差6.8円安、前月差3.8円安）
東北	195.7円
	（同1.7円高、同7.4円高）
関東など	176.7円
	（同0.2円安、同1.3円高）
首都圏	194.4円
	（同2.8円高、同4.1円安）
中部	179.9円
	（同0.8円高、同4.2円高）
関西	192.6円
	（同3.9円高、同3.7円高）
中国・四国	204.5円
	（同6.5円高、同3.3円高）

九州・沖縄 189.7円

（同1.8円安、同2.0円高）

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は27.8円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

1月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で80.2円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、238.5円（前年同月差3.1円高、前月差0.1円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道	193.0円
	（前年同月差3.6円高、前月差3.9円安）
東北	273.2円
	（同4.5円高、同0.1円高）
関東など	245.7円
	（同0.4円安、同0.3円高）
首都圏	243.3円
	（同5.0円高、同1.0円高）
中部	249.6円
	（同0.1円安、同0.9円高）
関西	229.9円
	（同3.7円高、同1.0円安）
中国・四国	252.8円
	（同6.7円高、同2.7円高）

九州・沖縄 219.5円

(同1.1円高、同1.5円安)

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は80.2円であった。

1月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で49.8円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける1月の三温糖小袋(1キログラム)の平均小売価格は、233.6円(前年同月差2.5円高、前月差2.6円高)であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった。

北海道 240.2円

(前年同月差1.8円安、前月差6.2円高)

東北 255.9円

(同0.1円高、同5.7円高)

関東など 240.9円

(同3.9円高、同0.9円高)

首都圏 228.9円

(同2.5円高、同2.9円高)

中部 225.7円

(同2.4円高、同2.2円高)

関西 229.1円

(同4.1円高、同2.4円安)

中国・四国 250.5円

(同6.4円高、同7.6円高)

九州・沖縄 206.1円

(同0.9円安、同2.3円安)

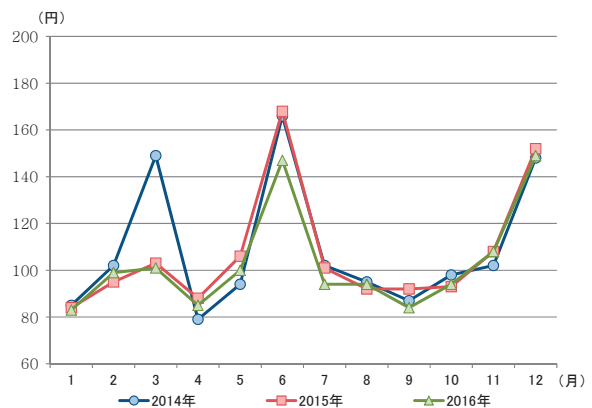
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は49.8円であった。

【購入金額および購入量】

12月の砂糖の購入数量は前年同月からやや減少

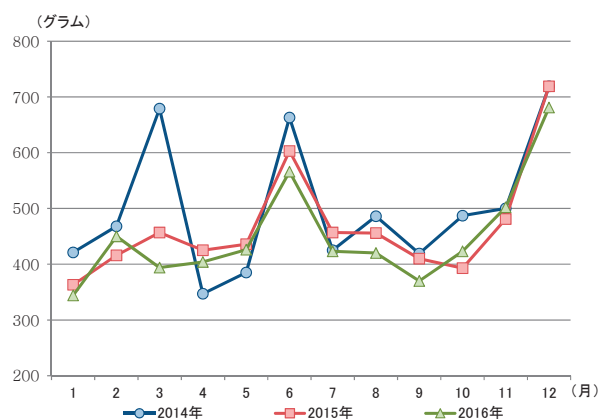
総務省「家計調査」によると、2016年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は61で、1世帯(2人以上)当たりの支出金額は、149円(前年同月比2.0%安、前月比38.0%高)となった(図13)。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、681グラム(同5.3%減、同35.7%増)となった(図14)。

図13 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図14 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」